

バロー創業、恵那市名誉市民の故伊藤氏

遺族が市に200万円寄付

市長「図書館の蔵書増やす」

スーパーマーケット「バロー」創業者で、7月に死去した恵那市名誉市民の故伊藤喜美氏の妻、友子さん(89)が24日、恵那市役所を訪れ、市に2千万円を寄付した。

友子さんと娘婿の田代正美バロー会長兼社長(68)が訪問。田代会長は「故人はいつも恵那市にお世話になってきた。お礼の気持ちとして、寄付させてもらいたい」と話し、寄付金の目録を可知義明市長に手渡した。

可知市長は「寄付金で市中央図書館の蔵書を増やし、故伊藤氏の意志をしっかりと生かしていきたい」と述べた。

(長尾剛次)



可知義明市長に寄付金の目録を手渡す田代正美会長(中)と伊藤友子さん、恵那市役所